

「わたしたちからの発信」

藤原中学校生徒が小学5・6年生のところへ「SDGsの出前授業」に行きました。3月2日(火)

<授業内容>

- ① 小学校5・6年生といっしょに、「SDGsとは何か」を学習しましょう。
- ② 現在行っている「藤原中のSDGsの取り組み」を伝えます。
- ③ 中学生になって、SDGsの取り組みにスムーズに「参加できるよう」にしていきましょう。
- ④ 小学校でもSDGsの取り組みを行なえる「きっかけ」にできるといいですね。



いなべ市藤原町市場の藤原小中学校で二日、中学一年生が小学生へ持続可能な開発目標（SDGs）について教える授業があった。同中学は昨秋からSDGsの勉強会を実施し、給食の残飯ゼロに取り組んできた。小中一貫教育を実施しており、小学校と交流が盛んなことから、学習の締めくくりとして小学生の前で発表する機会を設けた。当日は八組に分かれた中学一年生が小学五、六年生の計四教室を訪問した。スライド資料などを使って、

給食残飯ゼロでSDGs

いなべ 藤原中生が児童に説明

SDGsについて説明し、「給食の残飯をなくそう」と呼び掛けた。

給食の残飯をなくそうと呼び掛ける藤原中の生徒—いなべ市で

(中日新聞 3月9日 北勢版)

これからの社会をどんな社会にしたい？
— これからどのように生きていくか —

1 貧乏をなくそう	2 健全な食生活を	3 良好な健康と福祉を	4 質の高い教育を	5 ジェンダー平等を	6 安全な水とトイレを
7 持続可能なエネルギーを	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の	10 人や国ごとの平等を	11 持続可能な都市とコミュニティを	12 つぶや消費を
13 気候変動に	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正を	17 パートナーシップで	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

～みんなで創ろう—一人ひとりが輝く「未来」～

中学3年生は、SDGsの17の目標に関連づけた、自らのテーマを考えて、「これからの社会をどんな社会にしたい？（その中で自分はどのように生きていくか）」、レポートにまとめました。